

会 議 録 要 旨

会議名	第1回 大垣市障害者計画・障害福祉計画策定・評価委員会
場 所	大垣市役所 3階 合同委員会室
日 時	平成20年8月7日 13:30～14:40
出席者	委員17人：黒川委員、長澤委員、谷口委員、大角委員、高橋委員、小林委員、小倉豊子委員、馬久地委員、伊藤恵委員、浅野委員、菅沼委員、伊藤光彦委員、金森委員、森委員、田上委員代理、関野委員、三輪委員代理 (欠席者 小林委員、山岡委員、橋川委員、林委員、安達委員、津坂委員、梶山委員、小倉裕久委員、成瀬委員) 事務局：広瀬福祉部長 (社会福祉課) 後藤課長、武田補佐、浅野
委員長	あいさつ
部長	あいさつ
委員長	(出席状況確認) (傍聴者入場)(3名) それでは、議事 大垣市障害者計画・障害福祉計画の平成19年度進捗状況について、事務局より、一括して、説明願います。
事務局 委員長	議題(1)について説明 何かご意見ございませんか。 ちなみに、全体の進捗状況を数えてみましたが、障害者計画ですが、全部で62事業中、56の事業につきまして○、△が6事業、×が0(ゼロ)というような、ほぼ概ね計画どおり進行しているのではないかと思います。 また、障害福祉計画の進捗状況につきましては、90パーセント以上のものが11サービスございました。また、50パーセント以上90パーセント未満が7、50パーセント未満が3、評価できないものが3、合計24サービスがございます。これは、個人的な判断でございますが、50パーセント以上実施されているサービスは24サービス中18サービスになります。そういった観点からいたしましても、障害者計画ほどではありませんが、概ね順調に推移しているのではないかと思います。 そういったことも、参考にさせていただいて、また委員の皆様からお寄せいただいたご質問に対する回答につきましても、ご意見いただければと思います。
三輪委員 代理	小中学校における設備の充実ですが、車いすの移動しかできない生徒がおりまして、中学校にいくということで体もおおきくなっておりますので、調べまして、市内の中学校にエレベーターを設置することになりました。見通しがある程度分かりますので、教育委員会と連携をとりながら、計画的に進めてほしいと思います。

委員長	それから、保護者が電動車いすでの移動ということで、そういった重い車いすが階段の段差を昇り降りする機械を購入いただいたのですが、2か月に1回程度ですので操作も慣れてこないで、使用する職員も不安がつきまといまいます。保護者の付添い（ヘルパー）ができればいいのですが、そういった知識もないので、操作ができないということで、できるような方が派遣していただけるとありがたいと思いました。 また、福祉教育ということで、出前講座などやっていただいておりますが、今後とも一層充実をお願いしたいと思います。
事務局	ありがとうございます。一点目でございますが、将来見通すことができるためにも、要望として計画的にすすめてほしいということですね。それから、2点目でございますが、移動を支援する専門員の派遣についても、検討いただきたいということについては、どうでしょうか。
委員長	ただいまの、重度の障がい者の外出時の介護、移動介護と申しますが、今回の場合は外出のヘルパーさんをお付けして、外出いただいていると思いますが、階段昇降車いすなどの特殊な機器の取り扱いのような特殊な業務につきましては、ヘルパー業務のなかに入っておりませんので、今現在ではそういったことができるヘルパーさんは市内にはおりませんので、これから検討いたしまして、できるだけ機器の理解からしていただきたいと思いますので、よろしくをお願いしたいと思います。 よろしいでしょうか。3点目につきましても要望として受け取ってよろしいでしょうか。ほかにございませんでしょうか。
馬久地委員 事務局	42番ですが、柿の木荘の作業棟ですが、通所の施設と聞いておりますが、どのような施設でしょうか。実際どの程度の障がいの方が利用されるのでしょうか。 ただいまの質問につきまして、大垣市柿の木荘ですが、現在は入所30名の更生施設でございます。また、障がい者の施設は、新しい施設体系に移行することになっております。市内又は西濃圏域には、重度の知的障がいの方が通所していただく施設が不足しておりますので、そういったことに対応しながら、新体系のサービスを実施できるよう、準備をすすめております。具体的には、生活介護といいますが、介護、排泄の介助を受けていただきながら、訓練や作業をしていただくサービスを、通所の方に提供できるよう、現在検討をすすめておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。
委員長	よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。
伊藤恵委員 事務局	障害福祉計画の方で、日中一時支援ですが、見込量増減の主な理由として「実際は利用せずに済んでいる人が多い」ということですが、申請の際には利用したくて支給決定をいただくのですが、希望する事業所が利用できないという現状があるということです。また、日中短期入所とは、どのようなサービスでしょうか。
委員長 事務局	ただいまの件ですが、いかがでしょうか。 ご指摘のありました件ですが、日中一時支援は、障害者自立支援法の施行前には宿泊を伴わない短期入所であったものですので、日中短期入所と表現してございますが日中一時支援と考えていただきたいと思います。 また、日中一時支援の利用の希望があるにも関わらず、諸事情により利用ができなかった実態があるのではないかとご指摘があった件ですが、本年度から開催しております障害者自立支援協議会の部会におきましても、情報共有をすすめておりますが、重度の障害児者の方には施設側、利用者側が利用に慣れていた

委員長	だくということで制限を設けさせていただいておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。 よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。
浅野委員	ここ数十年、総合学習ということで、障がいの理解が若い世代にすすんでいるようですが、それ以上の中高年世代の年齢の方にどれだけの理解がされているのか疑問です。広報などで、障がいの理解をすすめていただきたいと思います。 関連して、点字ブロックなどの誘導ブロックですが、点字ブロックの上で立ち話をしてみえるなど、点字ブロックの認知度が低いと思われます。 また、車道と歩道の段差が無いために、視覚障がい者は、車の危険と隣合わせとなってしまいます。自分の感覚だけが頼りですが、雨の日などは、雨音に車の音が遮られて、非常に危険です。足の裏で感じられる段差は2センチ以上必要となりますので、確保いただきたいと思います。
委員長 事務局	この点に関しましては、いかがでしょうか。 啓発は必要でありますので、広報、行事など機会あるごとに努めてまいりたいと思います。また、車道と歩道の段差につきましては、技術的な面もありますので、他の部署と協議いたしまして、検討していく必要があるかと存じますので、よろしくお願いいたします。
委員長	よろしいでしょうか。最後の方に、段差は最低2センチという具体的な要望がございましたので、ぜひとも反映していただきたいと思います。ほかにいかがでしょうか。
馬久地委員	38番ですが、かわなみ作業所は通所の施設ですが、利用者の親さんが高齢化していくなかで、グループホームといったことで、川並会館の跡地利用をお願いしたいと思います。1か所では足りないもので、整備していかなければならないと考えておりますが、「検討」とありますので、その一つとして検討いただきたいと思います。
委員長	これは、要望ということでよろしいでしょうか。では、ほかにいかがでしょうか。
浅野委員	市役所からの郵便物で、視覚障がい者だけの世帯ですと、内容を把握する必要があります。視覚障がい者用の機器で、ワードにSPコードをつけますと、内容を読み上げてくれるものがありますので、有効に使っていただけないか、検討いただきたいと思います。
委員長	是非ご検討いただきたいと思います。ほかにいかがでしょうか。
菅沼委員	聴覚障がい者が、災害の際に、コミュニケーションの保障に危機感がないように、避難所への手話通訳者の配置、派遣をしていただきたいと思います。
委員長	日ごろから準備をいただくということが必要かと思います。それでは、ご要望をいただき、検討していただくということで、よろしいでしょうか。 ほかに、よろしいでしょうか。特に意見が無いようですので、以上で、議事の「大垣市障害者計画・障害福祉計画の平成19年度進捗状況について」、審議を終了いたしたいと思います。 事務局 (閉会のあいさつ)

